

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

自主事業

1. 消防及び防災に関する知識の普及及び啓発事業

①『消防協会だより』の発行

発行回数 2回（7月・1月）
発行部数 各700部
配布先 会員事業所等

②防火防災意識啓発事業

実施日 3月1日（木）～3月7日（水）
3月8日（木）～3月31日（土）
内容 テレビ放送・JR和歌山駅前電光掲示板にて「春の火災予防運動」と「うっかり火災防止」の啓発を図った。

③防火防災意識啓発用物品の配布

実施日及び場所 1月8日（日）消防出初式（和歌山城砂の丸）
3月1日（木）春の火災予防運動（JR和歌山駅前）
配布品 折り紙、チラシ
配布数 1月8日（日）120個
3月1日（木）500枚

④住宅用火災警報器普及促進事業

実施日及び場所 4月1日（金）～5月31日（火）
和歌山バス側面看板（市内一円）
5月1日（日）～5月31日（火）
JR和歌山駅前電光掲示板
5月14日（土）ニュース和歌山掲載

⑤住宅用火災警報器の斡旋事業

実施期間 4月1日（金）～3月31日（土）
斡旋個数 1975個

⑥救急車適正利用啓発事業

実施日及び場所 4月1日（金）～5月31日（火）
和歌山バス側面看板（市内一円）

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

8月10日(水)～9月9日(金)

JR和歌山駅前電光掲示板

10月23日(日)

第11回和歌浦ベイマラソン With ジャズ

(マリーナシティ)

内 容 救急車の利用増加・救急隊員の現場到着時間の遅延を防止するために、電光掲示板・バス広告、啓発用旗の設置にて救急車の適正利用を呼びかけた。

⑦防火管理資格取得用テキストの販売

販売時期 防火管理者講習会開催時
年7回(5月12日～13日、18日～19日、26日～27日、
7月6日～7日、10月13日～14日、11月17日～
18日、平成24年2月22日～23日)

販売部数 469冊

⑧防火管理資格取得再講習用テキストの販売

販売時期 防火管理再講習会開催時
年1回(7月14日)

販売部数 52冊

⑨防災管理資格取得用テキストの販売

販売時期 防災管理者講習会開催時
年1回(6月15日)

販売部数 33冊

⑩救命講習用テキスト等の販売

販売時期 通年及び救命講習会開催時

販売部数 2005ガイドラインテキスト 142冊
2010ガイドラインテキスト 149セット
(フェイスシールド付)

心肺蘇生音声誘導器 64個
(E.R.Vキーホルダー)

⑪患者等搬送乗務員講習用テキストの販売

販売時期 患者等搬送乗務員基礎講習開催時

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

販売部数 3冊

⑫子どもなかよしまつり&和歌山音楽大行進への参加

内 容 会場に地震体験車を設置し、子ども達が大地震を疑似体験することで地震時の行動力を身につけられた。

実施時期 5月5日(木)

実施場所 砂の丸広場

利用者 448人

⑬消防図書の販売

実施時期 通年

販売部数 1218冊

2. 消防及び防災に関する調査及び研究事業

①調査研究視察

実施日及び場所 10月 4日(火) 和歌山大学

(観光学部教授 尾久土 正己)

視察内容 360度の全天映像を使った東日本大震災の被災地のパノラマ動画を視聴

調査員 高山、瀬藤

3. 5団体への広報活動支援

和歌山市 LP ガス防火研究会

和歌山市危険物防火研究会

和歌山市防火管理者連絡協議会

和歌山市婦人防火クラブ連合会

和歌山市防火委員会連合会

4. その他協会の目的を達成するために必要な事業

①消防職・団員に対する協会長表彰

実施日 3月4日(日)

会場 和歌山市消防局 多目的ホール

内 容 優良分団(3分団)に表彰状及び記念品を贈呈

(1) 和歌山市消防団 城北分団

(2) 和歌山市消防団 今福分団

(3) 和歌山市消防団 紀伊分団

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

②貸出し事業

実施時期 通年

貸出し件数 2件

受託業務

1. 和歌山市消防局防災学習センター運営

①和歌山市消防局防災学習センター見学案内業務

対象 市民、自治会、企業、学校、各種団体等

期間 通年

来館者数 11579人

②地震体験車に係る業務

対象 市民、自治体、企業、学校、各種団体等

期間 通年

利用者数 10592人

2. 防火防災絵画展の開催

内容 広く市民の皆さんに防火・防災を呼びかけるため、市内小・中学生と幼年消防クラブの年長園児を対象に防火・防災に関するポスターを募集し、防火と防災意識の向上に役立てました。
表彰作品は和歌山市消防局3階多目的ホールとオープンスペースに展示するとともに、子ども用防火服での記念撮影コーナーを設け火災予防の啓発を図った。

募集期間 6月末～9月上旬

応募点数 小・中学校の部 129作品

幼年消防クラブの部 204作品

審査日 11月23日(月)(会場：和歌山市消防局 多目的ホール)

結果 小・中学校の部

消防局長賞1点、危機管理監賞1点、消防協会長賞2点

幼年消防クラブの部

消防局長賞1点、消防協会長賞3点

開催日 12月9日(金)、10日(土)、11日(日)の3日間

開催場所 和歌山市消防局3階 多目的ホール、オープンスペース

入場者数 317人

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

3. 夏休み防火防災スクールの開催

内 容	防火・防災について親子で楽しみながら学習し、火災予防意識の向上と火災・地震等の災害時の行動力を身につけることができた。
対 象	小学生及びその保護者
時 期	夏休みの3日間 7月29日（金）、30日（土）、31日（日）
場 所	和歌山市消防局 防災学習センター、中署1階ガレージ
参加人数	小学生 72名、保護者他 84名

4. 防火管理講習会及び防災管理講習会の開催

内 容 各講習の案内、受付、修了証の作成および講師等の業務を行う。

① 甲種防火管理新規講習会

実施回数 7回（5月12日～13日、18日～19日、26日～27日、7月6日～7日、10月13日～14日、11月17日～18日、平成24年2月22日～23日）

会 場 和歌山市消防局 多目的ホール

受講者数 469名

② 甲種防火管理再講習会

実施回数 1回（7月14日）

会 場 和歌山市消防局 多目的ホール

受講者数 52名

③ 防災管理者講習会

実施回数 1回（6月15日）

会 場 和歌山市消防局 多目的ホール

受講者数 33名

5. 防火・防災出前講座の開催

内 容 市民、事業所、各種団体等に対する防火・防災に関する研修事業

実施時期 通 年

出前回数 21回

6. 救命・応急手当講習会の開催

内 容 救命及び応急手当等を市民に普及する講習会（普通救命、上級救命
応急手当普及員養成・再講習）の案内、受付、修了証の作成及び講師等の業務を実施

① 普通救命講習会

実施回数 19回

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

会 場 和歌山市消防局 多目的ホール等
受講者数 379名

② 上級救命講習会

実施回数 1回
会 場 和歌山市消防局 多目的ホール
受講者数 55名

③ 普及講習会

実施回数 6回
会 場 市内一円
受講者数 157名

④ 応急手当普及員再講習会

実施回数 2回
会 場 和歌山市消防局 多目的ホール
受講者数 49名

7. 患者等搬送乗務員講習会の開催

内 容 民間の患者等搬送乗務員を対象に応急手当、患者等搬送要領など必要な事項について講習を実施した。

① 患者等搬送乗務員基礎講習会

実施回数 1回（6月8日～6月10日）
会 場 和歌山市消防局 多目的ホール
受講者数 3名

② 患者等搬送乗務員定期講習会

実施回数 1回（6月17日）
会 場 和歌山市消防局 多目的ホール
受講者数 8名

8. 特別巡回防災講座の開催

内 容 大学の教授を講師に迎え、講話を聴くことにより、迫り来る地震や津波等の危機に備え、災害時に不可欠な防災知識や行動を身につけることができた。

実施日及び場所

- ・11月13日（日）
 - 9：50～ 河西コミュニティーセンター
 - 14：00～ 中央コミュニティーセンター
- ・12月 3日（土）
 - 9：50～ 東部コミュニティーセンター

平成23年度一般社団法人和歌山市消防協会事業報告

14:00～ 河南コミュニティーセンター

・12月10日(土)

9:50～ 河北コミュニティーセンター

14:00～ 北コミュニティーセンター

・1月28日(土)

14:00～ 和歌の浦アート・キューブ

講 師	和歌山大学防災研究教育センター 特任准教授 照本 清峰 氏
講演時間	2時間(質疑応答を含む)
講演内容	『災害への備えと復興への備え』
受講者数	283名

9. 和歌山市消防交友会の受託業務

内 容 会員名簿作成および管理、総会案内、経理事務、決算書等の作成業務を行った。

10. 4団体の受託業務

内 容 経理事務、会費納入通知、決算書等の作成業務を行った。

団 体 名 (1) 和歌山市危険物防火研究会
(2) 和歌山市防火管理者連絡協議会
(3) 和歌山市防火管理者連絡協議会 各支部
(4) 和歌山市 LP ガス防火研究会